

ばれたためではないかと考えられます。3月の全体漁獲量（標本船データより推定）は前年および平年を上回り（前年比 2.9 倍、平年比 1.3 倍）、4月は前年および平年の半分に留まりました（前年比 0.5 倍、平年比 0.6 倍）。また漁獲の9割は茅ヶ崎以西に偏りました。

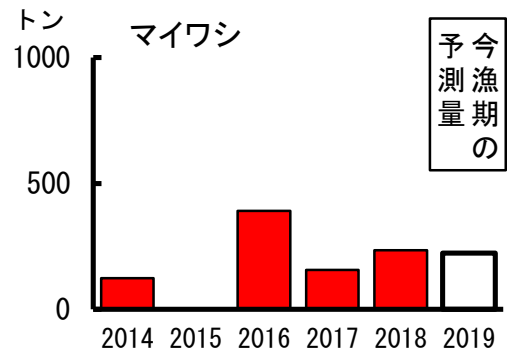
= 予 報 =

【マイワシ】

今漁期は、0歳魚（2019年級群）主体に、2018年生まれの小羽マイワシ（13～15cm）が混じるでしょう。

今漁期の漁獲量は、前年並の約 224 トンと予測されます。

過去5年の5・6月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

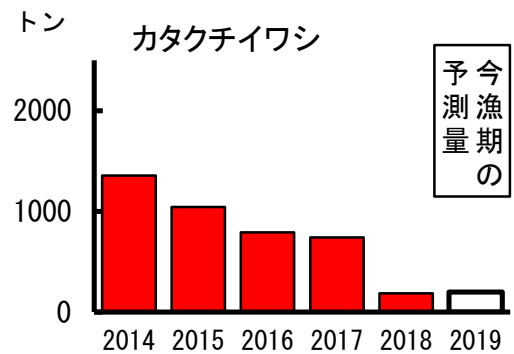


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【カタクチイワシ】

今漁期は、小型成魚（9～11cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の水揚量は、前年並の約 200 トンと予測されます。



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【シラス】

今漁期は、4月以降に生まれたカタクチシラスが漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、前年をやや下回る約 95 トンと予測されます。

